

— 中近世の
港湾都市 —

兵庫津

ひょうごの

令和5年
1 / 14
土
3 / 12
日



観覧時間 | 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
休館日 | 月曜日
観覧料 | 大人:200(150)円 | 大学生:150(100)円 | 高校生以下無料

※()は20名以上の団体料金

※障害者手帳またはミライオID提示で本人は75%減免、介助者1名まで無料

※70歳以上の方は大人料金の半額

主催 兵庫県立考古博物館
協力 兵庫県立兵庫津ミュージアム / (公財)兵庫県まちづくり技術センター

Hyogo Prefectural Museum of Archaeology
兵庫県立考古博物館



兵庫津 — 中近世の港湾都市 —

兵庫津は古くは大輪田泊と呼ばれ、古代から近世まで千年以上にわたり瀬戸内海交易の重要拠点であり続けた港湾都市でした。この地に兵庫県の初代県庁が置かれたのもそうした歴史的背景に由来しています。近年の発掘調査により、その兵庫津の実像が徐々に明らかになってきました。今回の展示では遺跡からの出土品によって、中世～近世の都市生活の移り変わりに迫ります。



兵庫津遺跡(北西から)

令和5年
1/14 ◆
～3/12 日

兵庫津遺跡出土品



中国建窯産天目茶碗(室町時代)



肥前系染付磁器(江戸時代)



ミニチュア土製品(江戸時代)

講演会

● 事前申込制 ●

13:30～15:00(12:45開場)当館講堂、定員72名【無料】

《応募者多数の場合は抽選となります》

企画展関連

- 1月14日(土) 「近代日本がここ兵庫津から始まった」
山下 史朗
兵庫県企画部地域振興課歴史資源活用専門官
- 1月21日(土) 「発掘調査から見た兵庫津」
野田 優人
(公財)兵庫県まちづくり技術センター主任
- 2月4日(土) 「やきものから見た中世の兵庫津」
岡田 章一
当館名誉学芸員

兵庫考古学研究最前線2022

- 2月25日(土) 「イアン・ホダー著『過去を読む』を読む」
鐵 英記
当館埋蔵文化財課長
- 3月11日(土) 「社寺彫刻の考古学」
甲斐 昭光
兵庫県教育委員会文化財課長

講演会の申込方法

▶ オンラインでの申込

- 当館ホームページよりお申し込みいただけます。



▶ 往復はがきでの申込(1枚につき1講演のみ)

- 往復はがきに、下記の内容を記入して下さい。
- ①開催日・講演会名
- ②名前(フリガナ)・年齢(1枚につき1名)
- ③住所
- ④電話番号(当日連絡のつく番号)

送付先(往信)

〒675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1
兵庫県立考古博物館 学芸課

※講演会は変更・中止となる場合があります。

アクセス

【電車】・JR土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩25分
【車】・第2神明/加古川バイパス明石西ICから約3km
※自動車でお越しの方は町営大中遺跡公園駐車場(64台/有料)もしくは町営野添であい公園駐車場(50台/有料)をご利用ください。イベント等の実施により混雑する場合がありますので、ご注意ください。



和鏡・天保通寶・銅製小判



銅銭

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館

Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1

【電話】079-437-5589 【FAX】079-437-5599

【HP】https://www.hyogo-koukohaku.jp/

